

本当のお母さんのような保育をめざす

保育所 花キュー園

《広島市中区》



平和公園に、落ち葉拾いに行きました

子どもたちが集まってくるのは、8時前後から。朝の挨拶と本読みが終わったら、自由遊びの時間です。この時間に何をするかは、その日の気分。「今日は何して遊ぶ？」と子どもたちにたずねると、思い思いの返事が返ってきます。危険なことをしない限りは、大人は手を出さず、自由に遊ばせます。けんかが始まって、基本的にすぐに注意はしません。危なくなったらすぐに止められるようにしつ

扉を開けると7カ月〜5歳までの子どもたちが、一緒になって遊んでいます。室内を走り回ったり、取っ組み合いをしたり、まるで園内の子どもみんなが兄弟みたい。園長の坂本先生は、「この子たちは、みんな私の子と同じなんです」とかけよってきた女の子を抱きしめました。園長先生の目標は、「人の気持ちの分かる、人に優しくしてあげられる人に育てる」とこと。教えるのではなく、心で感じて気付いてほしいという思いが根底にあります。



毎日とってある「歌の時間」。歌う曲は、子どもたちのリクエストによって決まります



ひな祭りの特別メニュー。園長先生の自信作です！

母さんが怒るように、思い切り怒ります。悪いことは本気で怒る。この子たちが大きくなった時、心からしかられたという記憶が必要になる時が来ると思っています。花キュー園では、子どもが「やりたい」と言ったことを止めないようになっています。小さい子が、大きいこのマネをして「それは無理だろう」ということをやられたがることもあるそうですが、とりあえず自分でやらせます。ダメだったらそれでもOK。やりたいことを思い切りやれば、子どもの表情は豊かになるといいます。混合保育ですから、時には大きい子に負

かり見守りながら、やりたいだけやらせるのだとか。しばらくするとお互い納得するのか、すつきりした顔で一緒に遊び始めるのだそうです。取っ組み合いは、子どもならではのストレス発散法なのかもしれないですね。通常は見守るだけですが、明らかに「やめてはいけないうこと」をした場合は、厳しく怒ります。「家でお



ママのコメントで家庭での様子が、先生からのコメントで園での様子が分かります

けることもあります。しかしそうやって競争していくうちに、我慢を覚え、自己主張を覚え、年下の子をいたわる気持ちが芽生えるのです。子どもたちがかわいくてしかたない先生たちは、どんなことにも手間を惜しみません。例えば誕生日会。ケーキにろうそくを立てて、一人ずつ記念写真を撮るのですが実はこのケーキ、園長先生の手づくりなんです。もちろん誕生会用の特別メニューも、手づくり。季節ごとのイベントにも、お手製の特別メニューが登場します。「徹夜で作ることもあるんです。大変なんですけど、子どもたちが喜びのを見ていたら止められなくなりました」。園長先生は、うれしそうに語ってくださいました。お母さん方に好評なのが、手書きの連絡帳。園での活動報告と共に、子どもたち一人ひとりのエピソードをつづります。つまり、子どもの人数分だけコメントがあるのです。

遠慮なく目いっぱい愛して、ためらわず目いっぱい怒る。お母さんと同じ愛情を受けて、子どもたちは今日も元気に遊んでいます。

広島市中区本川町1-3-12本川ビル2階 TEL082・293・2667
http://www1.ocn.ne.jp/hanaq/ 保育時間/8:00~20:00
(延長については要相談) 休園日/日・祝日

「園長先生は母親のベテランで、まるで本当のお母さんみたいですね。育児についての相談にも親身になって聞いてくれますし、ここに来ると実家に帰ってきたような気分になります」



そうだ!!

お母さんにも聞いてみよう。
河内 千子さん
愛菜ちゃん

Q2 なぜ「花キュー園」なんです?
「キュー」は、次男の愛称です。5年前に交通事故で亡くしましたが、この子と一緒に生きていこうと思いい、この名前をつけたんです。「花」は次男の親友の苗字からもらいました」



そうだ!!

園長に聞いてみよう。
坂本 サツエ園長

Q1 公立保育園が終わった後に来ている子もいるんですか?
「働いていると急な残業が入ることもありますが、お母さんがお迎えに間に合わない時は、保育園まで子どもを迎えに行き、花キュー園で預かっています。いずれは本川小学校と連携をとって、学童保育の後の一時預かりも行えたらと思っています」